



*2023年1月改訂(使用上の注意改訂)

第2類医薬品

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



かぜ薬

ストナジェル サイナス

鼻水、鼻づまり、発熱に効く

ストナジェルサイナスは…

- かぜの鼻水にすぐれた効果をあらわすベラドンナ総アルカロイドを配合したかぜ薬です。
- アセトアミノフェンの効果で熱をさげ、頭痛などの痛みをやわらげます。
- のみやすいソフトカプセルで、中味は液状につくられています。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 12歳未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)、胃腸鎮痛鎮痙薬

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります)

4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

5. 服用前後は飲酒しないでください

6. 長期連用しないでください



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
- (6) 次の診断を受けた人。

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい、頭痛
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	過度の体温低下、顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
* 薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

症状の名称	症 状
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
便秘、口のかわき、眠気、目のかすみ
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

【効 能】

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒(発熱によるさむけ)、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

【用法・用量】

下記の1回服用量を食後なるべく30分以内に服用します。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
成人(15歳以上)	2カプセル	3回
12～14歳	1カプセル	
12歳未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- カプセルの取り出し方**
右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



【成分・分量と働き】6カプセル中

成 分	分 量	働 き
ベラドンナ総アルカロイド	0.3mg	副交感神経に働いて鼻水を抑えます。
ジフェニルピラリン塩酸塩	4mg	鼻水、鼻づまり、くしゃみなどの症状を抑えます。
アセトアミノフェン	900mg	発熱、さむけ、頭痛、のどの痛み、ふしぶしの痛みに効果をあらわします。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	せきの症状をやわらげます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	
ノスカピン塩酸塩水和物	48mg	たんをうすめて出しやすくします。
グアイフェネシン	150mg	
無水カフェイン	75mg	解熱・鎮痛成分の働きを高めます。
リボフラビン	12mg	かぜの時に不足しがちなビタミンを補います。

添加物として、ラウリル硫酸Na、ポリソルベート80、プロピレングリコール脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、ゼラチン、コハク化ゼラチン、グリセリン、D-ソルビトール、酸化チタン、パラベンを含有します。

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤はリボフラビン(ビタミンB₂)を含有するため、本剤の服用により、尿が黄色くなることがあります。

◎保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



◎早くよくなっていただくためのアドバイス

- 睡眠をとり無理をしないことが治療の第一歩。特に熱がある時は、安静にしましょう。
- 衣服や寝具は体をあたたかく保てるものを。もちろん部屋もあたため、なるべく加湿して空気の乾燥を防ぎましょう。
- 汗をかいたらタオルでふいて、下着をとりかえ、体を冷やさないようにしましょう。
- 食事はあたたかいもの、水分やビタミンの多いもの、カロリーの高いもの、消化のよいものを取りましょう。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、
お買い求めのお店又は下記にお問い合わせください。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 **03-5412-7393**
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号